

第4章

使いこなそう対話型データベース

この章の内容

この章では日々入力していったデータをどのように集計、分析していけば効率的かを、習得していただけるように説明しています。

日々入力し続けてきた売上データをもとに、日計表の作成から顧客別の売上ランク付け等。

やりたかった事がこんなにも簡単に実現する。

The PIPSならではのデータベース機能を満喫ください

表計算だけが計算じゃない！！



小計を取るには

貯まったデータを使って日計表を作ってみましょう

使う指令 ST(Sub Total)

メニューだったら **処理(P)** → **小計(ST)**



集計したいキー列がソートされているのが前提です。

今回は日次集計でデータは日付順に並んでいますので、そのまま集計ができます。データを並べ替えるには指令 SORT。キー列に INDEX がかかっている場合も並べ替える必要はありません。



ダイアログボックス(1)

集計の対象になるページと、小計の種類等を指定します。

今回は出来上がった小計表を見やすくするために罫線をつけます。

次へ



ダイアログボックス(2)

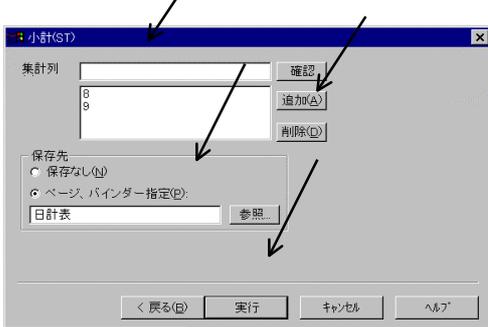
キーとなる列番号を指定します。今回は日計を集計したいので、日付が入っている列を指定します。ここでは1列目が日付になっています。

次へ



ダイアログボックス(3)

キー列を指定した分列番号と小計名が表示されます。小計名を変更したいときのみリストボックスのキー列をリバースさせ「編集」を左クリックすると修正できる状態になります。今回は次へ



ダイアログボックス(4)

集計列を指定します。8「追加」9「追加」と左クリック。結果の保存先を指定します。

保存なし：集計結果を保存せずに画面上に残します。

保存先指定：新規バインダー名を指定すると新しいバインダーを作って、集計結果を保存します。



さあ、結果が出ました。



みなさんはうまく日計表になりましたか？

売上データ日計表

年月日	顧CO	顧客名	品CO	商品名	色(系統)	単価	数量	金額	消費税	マ
960401	1047	早川 久美子	1303	ブラウス	ピンク	9,800	1	9,800	294	晴れ
960401	1047	早川 久美子	1206	パンツ	白	13,000	1	13,000	390	晴れ
960401	1047	早川 久美子	0403	ジャケット	白	58,000	1	58,000	1,740	晴れ
960401	1048	酒井 繁子	0403	ジャケット	白	58,000	1	58,000	1,740	晴れ
960401	1031	橋口 三郎	0101	カーディガン	ブルー	9,800	1	9,800	294	晴れ
960401	1031	橋口 三郎	0302	シャツ	ブラック	18,000	1	18,000	540	晴れ
小計1								166,600	4,998	
960402	1010	大西 清春	1302	ブラウス	ピンク	48,000	1	48,000	1,440	曇り
960402	1045	田中 聡美	1102	ネクタイ	クリーム	14,000	1	14,000	420	曇り
小計1								62,000	1,860	
960403	1012	加藤 緑	0702	スカーフ	オレンジ	20,000	1	20,000	600	曇り

第 4 章



ワンポイントクッキング

小計には指令 S T の形と他にクロス集計 (指令 C R O S S) というものがあります。クロス集計には S T の小計のみと同じような集計をするマルチ (M) と文字どおり縦横クロスさせてデータを見る標準 (S)、他には文字列の件数を集計する列 (C) と決めた区間の集計をとるレンジ (R) があります。クロス集計は分析に使える指令でもあります。形を変えてデータを見るにはもってこいの機能ですのでぜひご活用ください。S T との違い分け...明細付きの小計が欲しいときは S T と覚えておいてください。

クロス集計の集計パターン標準 (S) を使った担当別の日計表作成手順

(1) 売上台帳をもとに集計

(2) 縦項目、横項目、集計列を決める

日付の列
担当者の列
金額の列

(3) タイトルを入れて [実行] を左クリック

(4) 集計結果表 (担当者別日計表)

年月日	高橋	松本	松崎	仙石	河合	松田	三浦
960401	138800	27800					
960402	14000		48000				
960403		14000	144000	178000	68000		
960404	194000	25800			110000	15600	132000
960405					28000		108000
960407			155800				
960408				48000		122800	
960409		24000				32000	114000
960410	15800			87800			48000
960411		24000	48000				
960412	58000	16000		15800		119600	
960413		12000			15600	120000	17800
960414					98400	15800	

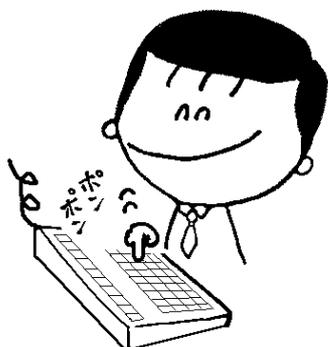
面白くて簡単なのは、縦項目と横項目と集計列をいろいろ変えるだけで、いろんな数値が見えてくる事です。売上台帳の中だけでも、

1. 担当者別の商品別売上
2. 商品別の色別の売上本数
3. 天気による色別売上の傾向

...まだまだ考えるといろいろ出てきますね。そういう統計を取って、よく売れるお店 (会社) をもう 1 度考えてみませんか？

22 別の台帳に転記するには(1)

売上台帳のデータを顧客台帳（マスタ）に転記してみましょう。



顧客マスタの内容は次の通りです。
 顧客名、住所、電話番号、好きな色、年齢等の情報を入れておきました。顧客マスタには、戦略になるような情報がたくさん欲しいですね。あなただったらどんな情報が欲しいですか？
 その情報を役に立てて、お客様にも喜ばれ、お店（会社）も繁盛するといいですね。
 さて、チョチョイノチョイッと売上台帳を集計して顧客マスタに転記しましょう。

顧客マスタ



ThePIPS - メイン: 顧客マスタ

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 入力(I) 書式(T) 処理(P) 管理設定(S) アプリ(A) 通信変換(X) ウィンドウ(W) 2

メイン: 顧客マスタ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
顧客CODE	顧客名	フリガナ	好きな色	年齢	誕生日	数量	金額	〒	
1001	明石 左千夫	アカサキ サチウヂ	グレー	35	19610528			115	東京都江
1002	安藤 洋子	アンドウ ユウコ	レッド	48	19480818			222	埼玉県蕨
1003	泉 恵子	イズミ エミコ	ブルー	42	19540716			125	神奈川県
1004	岩崎 優	イワサキ ユウ	レッド	35	19610709			113	東京都葛
1005	上村 圭	ウエムラ ケイ	グレー	36	19600204			231	神奈川県
1006	江森 祐子	エミモリ ユウコ	オレンジ	44	19520930			317	茨城県日
1007	大石 総子	オオイシ ソウコ	サックス	26	19700502			567	大阪府茨
1008	大倉 健二	オオクラ ケンジ	ブラック	48	19480101			181	東京都三
1009	大竹 千春	オオタケ チハル	ベージュ	33	19630605			870	大分県大
1010	大西 清春	オオニシ ヒロハル	アイボリー	18	19780217			261	千葉県千
1011	小川 雅之	オガワ マサユキ	ブルー	45	19510203			150	東京都渋
1012	加藤 緑	カトウキ ナツ	グリーン	42	19540228			261	千葉県千
1013	金子 昭	カネコ ショウ	ブルー	18	19781209			231	神奈川県

ESC 指令を入力してください

Enter

1 2 3 4 全角 計算 挿入 C:/PIPSDATA:顧客マスタ/1

7列目に数量、8列目に金額の項目があります。売上台帳を集計してここに転記してみましょう。

第 4 章

使う指令 CROSS

ツールバーだったら



メニューだったら

処理(P)



クロス集計(CROSS)



ダイアログボックス(1)

集計対象を「売上台帳」、
集計パターンを「マルチ」として
次へ を左クリックします。



ダイアログボックス(2)

集計の種類を「合計」、縦項目は
2 列目に顧客コードが入っている
ので「2」、集計列は数量と金額
の列を集計したいので「8 / 9」
と書き込んだら **次へ** を左クリッ
クします。



ダイアログボックス(3)

既存集計表を使用をチェックし
て、「顧客マスタ」と書き込んで
次へ。この時 **参照** を左クリッ
クしてバインダーを選択すると便
利です。

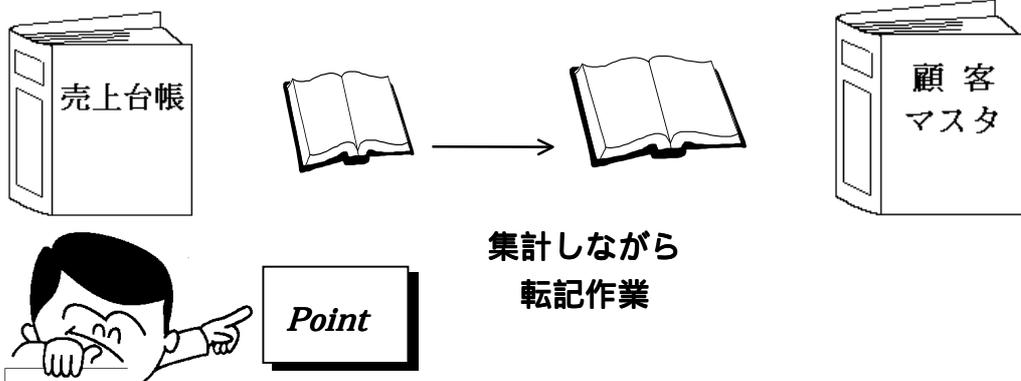


ダイアログボックス(4)

集計表のキー列を聞いています。
 売上台帳で縦項目と選んだ列と同じ
 データが入っている列を書きます。
 ここでは顧客コードの入っている列
 ですから「1」と記入します。

実行

「顧客マスタ」の「数量」と「金額」の列に集計結果が書き込まれました。



クロス集計は指定された列の項目名を見えています。転記先台帳と集計元台帳の項目名を同じにして
 ください。違う場合は集計結果を転記しませんのでご注意ください！

1	2	3	4	5	6	7	8	9	
顧客CODE	顧客名	フリガナ	好きな色	年齢	誕生日	数量	金額	〒	
1001	明石	左千夫	グレー	35	19610528	2	26,000	115	東京都江東
1002	安藤	洋子	レッド	48	19480818	5	118,600	222	埼玉県蕨市
1003	泉	恵子	ブルー	42	19540716	4	169,800	125	神奈川県川
1004	岩崎	優	レッド	35	19610709	2	36,000	113	東京都葛飾
1005	上村	圭	グレー	36	19600204	2	58,800	231	神奈川県相
1006	江森	祐子	オレンジ	44	19520930	4	146,400	317	茨城県日立
1007	大石	総子	サックス	26	19700502	3	34,000	567	大阪府茨木
1008	大倉	健二	ブラック	48	19480101	3	29,800	181	東京都三鷹
1009	大竹	千春	ベージュ	33	19630605	2	138,000	870	大分県大分
1010	大西	清春	アイボリー	18	19780217	2	128,000	261	千葉県千葉
1011	小川	雅之	ブルー	45	19510203	3	86,000	150	東京都渋谷
1012	加藤	緑	グリーン	42	19540228	4	81,700	261	千葉県千葉
1013	金子	昭	ブルー	18	19781209	3	216,000	231	神奈川県相

数量と金額の列に集計結果が書き込まれました。

ランク付けするには

売上順にお客様にランクをつけてみましょう。

顧客マスタにお客様ごとの売上実績が集計されましたので、次はお客様ランクをつけることにしましょう。例えば、春の展示会を開いたときにAランクのお客様、Bランクのお客様ごとにプレゼントを変えたり、Bランク以上のお客様にプライスダウンの「前日ご招待ハガキ」を出したり、いろんなサービスが考えられますね。さあ、サービスの内容はあなた自身に任せて、ここではランク付けをやりましょう。

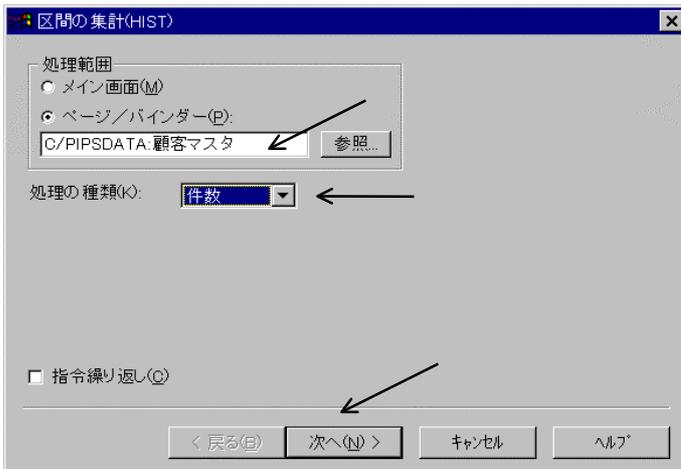


使う指令 HIST (HISTogram)

メニューだったら [処理(P)] → [区間の計算(HIST)]

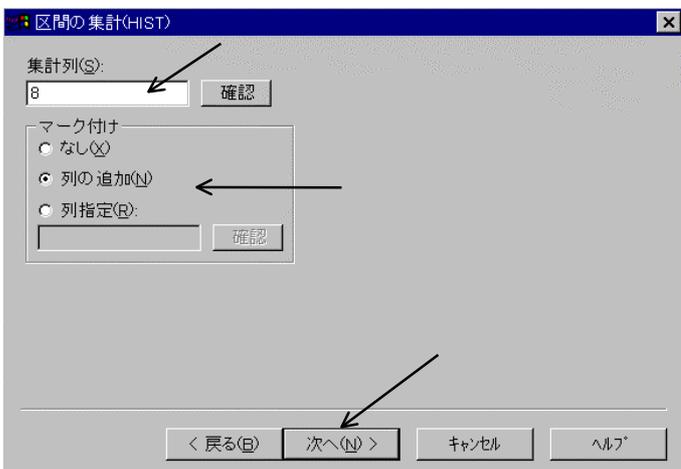
The screenshot shows the 'ThePIPS' application window with the '処理(P)' menu open. The '区間の計算(HIST)...' option is highlighted. Below the menu, a table of customer data is visible, including columns for customer code, name, and sales amount.

顧客CODE	顧客名	フリガナ	好きな	金額	〒	
1001	明石	左千夫	グレー	26,000	115	東京都
1002	安藤	洋子	レッド	118,600	222	埼玉県
1003	泉	恵子	ブルー	169,800	125	神奈川県
1004	岩崎	優	レッド	36,000	113	東京都
1005	上村	圭	グレー	58,800	231	神奈川県
1006	江森	祐子	オレンジ	146,400	317	茨城県
1007	大石	総子	サックス	34,000	567	大阪府
1008	大倉	健二	ブラック	29,800	181	東京都
1009	大竹	千春	ページ	138,000	870	大分県
1010	大西	清春	アイボリー	128,000	261	千葉県
1011	小川	雅之	ブルー	86,000	150	東京都
1012	加藤	緑	グリーン	81,700	261	千葉県
1013	金子	昭	ブルー	216,000	231	神奈川県
1014	狩谷	恭子	イエロー	91,800	331	埼玉県
1015	工藤	真智子	ホワイト	134,000	190	東京都
1016	兼崎	彩子	レッド	83,800	160	宮城県
1017	近藤	美奈子	ブルー	62,600	277	千葉県



ダイアログボックス(1)

処理範囲は「顧客マスタ」で、処理の種類は「件数」とします。処理の種類には「合計」と「件数」があります。「合計」はランク別に指定した集計項目の合計を出します。「件数」はランク別に何件あったかを出します。 **次へ**



ダイアログボックス(2)

金額を基準に集計しますので、集計列は金額の列「8」。ランクをつけたいけど、書き込む列を用意していないのでマーク付けのところは列の追加を選びます。 **次へ**



ダイアログボックス(3)

集計元表(ランク表)を作ります。タイトルは「ランク表」にしておきます。できたランク表を保存するかどうかの質問です。今回は保存なしにします。 **次へ**

第 4 章

区間の集計(HIST)

最小値
 自動設定(A)
 最小値指定(N):

最大値
 自動設定(B)
 最大値指定(O):

区間の設定方法
 区間数(C): 5
(2以上9999以下)
 区間幅(B):

< 戻る(B) 実行 キャンセル ヘルプ*

ダイアログボックス(4)

最小値、最大値は自動設定にして
おくと集計する金額の中から最小
値と最大値を選べます。

区間数は「ABCDE」と5段階
にしたいので「5」とします。

実行



マーク付けされた顧客マスタ

最終列にマークの列が追加され、それぞれのランクが書き込まれました。

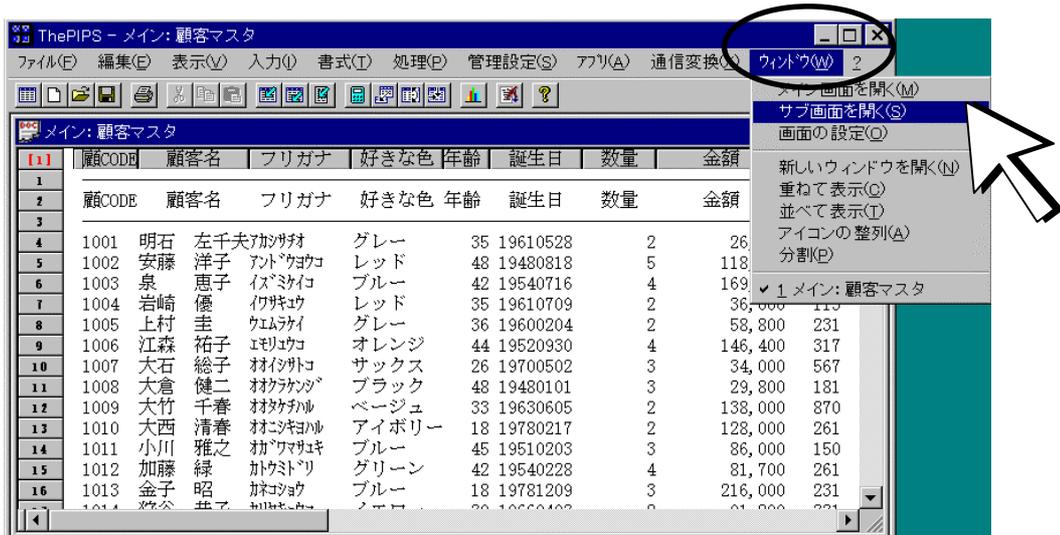
メイン: 顧客マスタ

	10	11	12	13	14	15	18
	住所 1	住所 2	電話番号	担CO	担当者	MARK	
1	東京都江東区亀戸鶴が岡1-2-5		03-1234-1267	001	三浦	E	
2	埼玉県蕨市七草町6-4-5	若波荘305	046-123-1288	001	三浦	C	
3	神奈川県川崎市川崎町1-2-1	j p p マンション202	044-123-1289	001	三浦	B	
4	東京都葛飾区葛飾東7-18-9		03-1234-1224	001	三浦	E	
5	神奈川県横浜市中区2-10-2		045-123-4554	001	三浦	D	
6	茨城県日立市神峰町4-3-6		0294-12-3438	001	三浦	B	
7	大阪府茨木市城の前町8-2-9	久間荘205	0726-12-3431	001	三浦	E	
8	東京都三鷹市下連雀1-10-10		0472-12-3468	001	三浦	E	
9	大分県大分市畑中中園2-4-2		0975-12-3407	001	三浦	C	
10	千葉県千葉市美浜区真砂3-2-1		043-123-4555	002	松崎	C	
11	東京都渋谷区恵比寿	1-20-23	03-3440-9524	002	松崎	D	
12	千葉県千葉市美浜区真砂	5-20-5	0472-79-2603	002	松崎	D	
13	神奈川県横浜市中区不老町	1-2-6	045-664-3744	002	松崎	A	

ランク表は保存なし指定でしたが、サブ画面にありますので、見ることができます。

使う指令 S (Swap)

メニューだったら **ウィンドウ(W)** → **サブ画面を開く(S)**



第4章



ランク表				
No.	以上	未満	MARK	件数
1	14000	56760	E	16
2	56760	99520	D	14
3	99520	142280	C	11
4	142280	185040	B	3
5	185040	227801	A	4

ランク表の見方

売上金額が14000円以上56760円未満のお客様はEランクで、16人います。

ランク表は前もって作っておくことができ、金額の幅も、ランクマークも自由につけることが可能です。その場合、集計元表の質問に対して、・既存表を選択。

- ・ランク表（既存集計表）の保存先を指定します。



ワンポイントクッキング

決まったランク表を使って集計するには、指令Oを使って作成してもかまいませんが、1度指令HISTを実行して、自動的にできたランク表を使うと簡単にできますのでお奨めです。さあ、さっそくさっきのランク表を利用して独自のランク表を作ってみましょう。

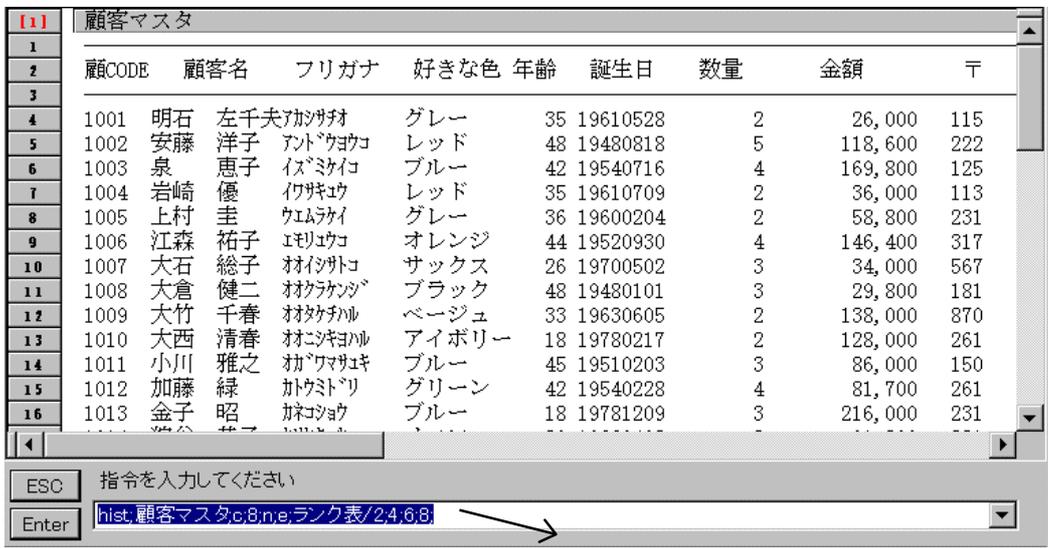
手作りランク表

ランク表				
No.	以上	未満	番付	金額
1	10000	～ 50000	十両	
2	50000	～ 100000	小結	
3	100000	～ 150000	関脇	
4	150000	～ 200000	大関	
5	200000	～	横綱	

料理長お奨めの手作りランク表はお気に召しましたでしょうか？金額の範囲も切りのいい数字にしました。マークは相撲好きの店長に合わせました。

200000円以上はすべて横綱とします。

顧客マスタの金額の列を既存のランク表を使ってランク分けする手順です。

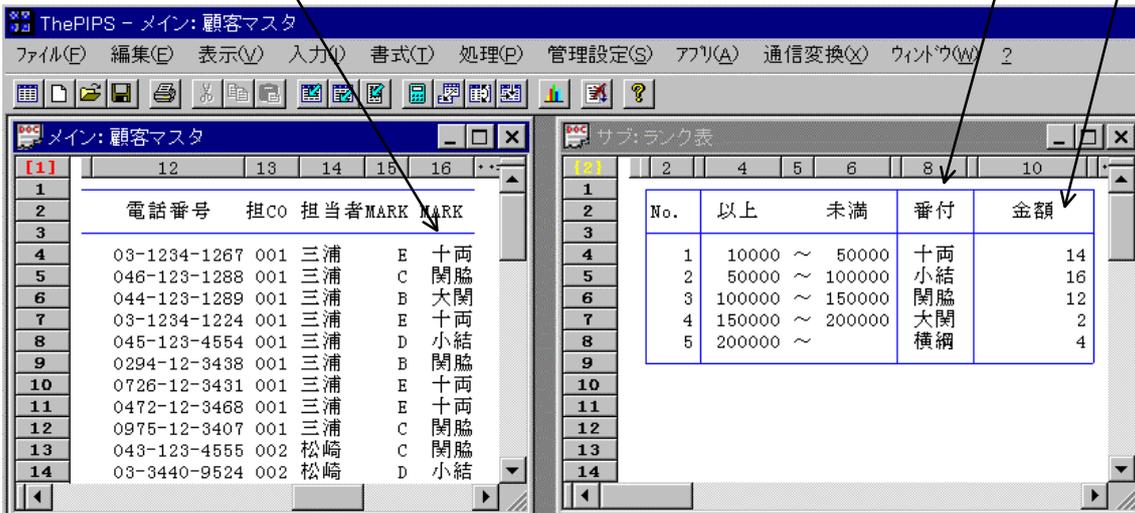


hist;顧客マスタ,c,8;n,e;ランク表/2,4,6,8;

メイン画面に「顧客マスタ」とサブ画面に「ランク表」を出してみました。

マーク付けされた顧客マスタ

指定された範囲でランク分けされたお客様の人数が集計されました



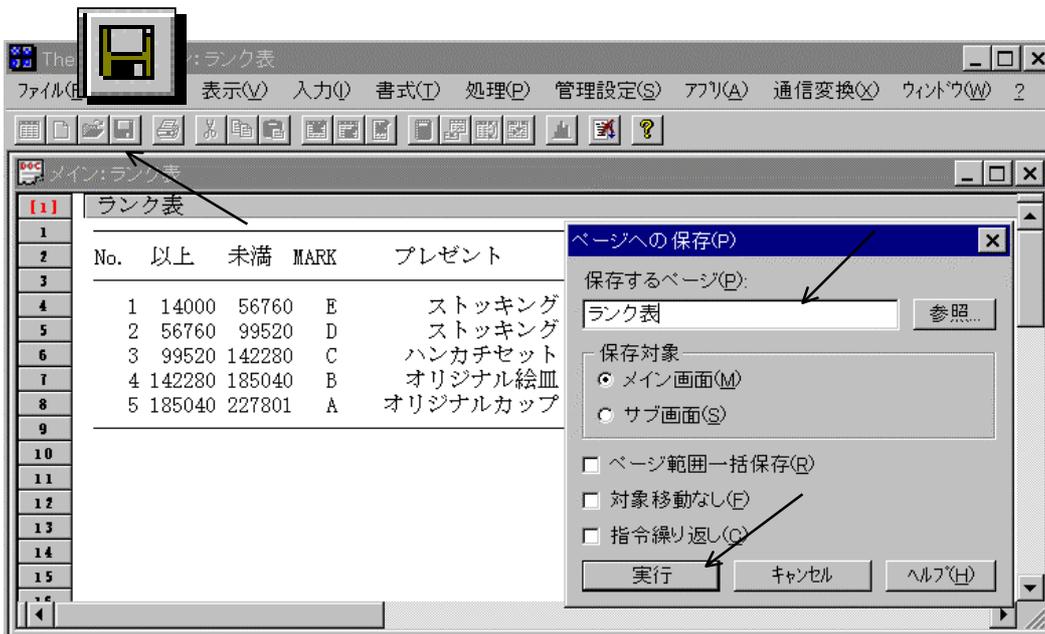
別の台帳に転記するには(2)

1度作成したデータは、他にも利用したい。そう考えるのが私たち人間です。

そうだ！このランク表を利用して春物の展示会に来店くださったお客様に渡すプレゼントリストを作ろう。まず数種類のプレゼントを決めてそれぞれのランクの横に書き込みましょう。

Aランクにはオリジナルティーカップ。Bランクにはオリジナル絵皿。Cランクにはハンカチセット。DとEランクにはストッキングにしましょう。

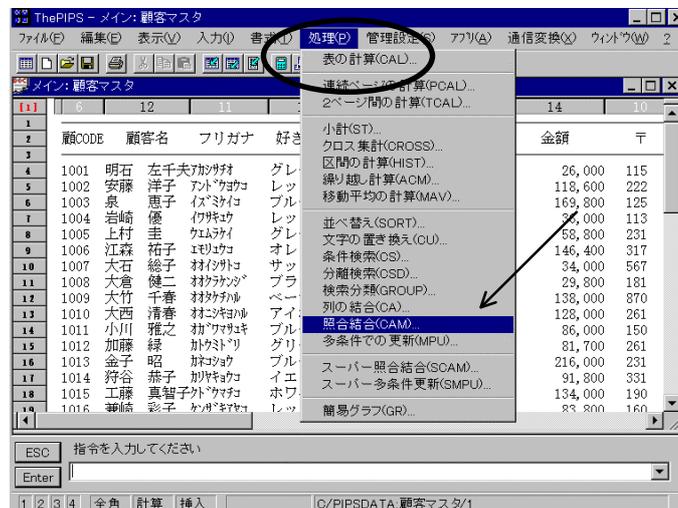
列を挿入してプレゼントを書き込んだらランク表という名前をつけて保存しましょう。

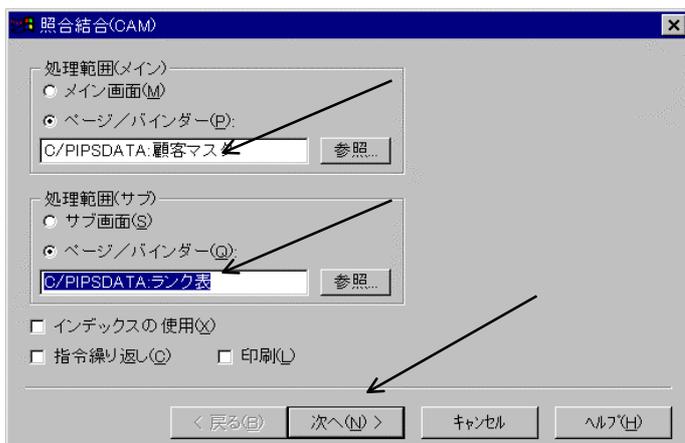


準備OKです。顧客マスタに転記しましょう。

使う指令 **CAM**(Column Arrange with Match)

メニューだったら **処理(P)** → **照合結合(CAM)**

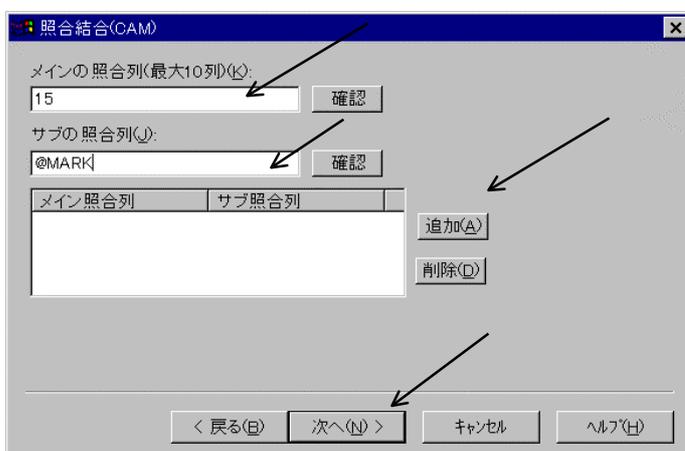




ダイアログボックス(1)

処理範囲はメインとサブを指定します。メインが「顧客マスタ」で、サブが「ランク表」とします。

次へ



ダイアログボックス(2)

メインの照合列とサブの照合列を入力します。

列番号を書き込むか、左のように@項目名でもOKです。

この指定方法は、列番号を確認するのが面倒な時にも便利ですが、オートプログラムのときはもっと重宝します。列の並びが変わっても、プログラムを書き換える必要がありません。

次へ

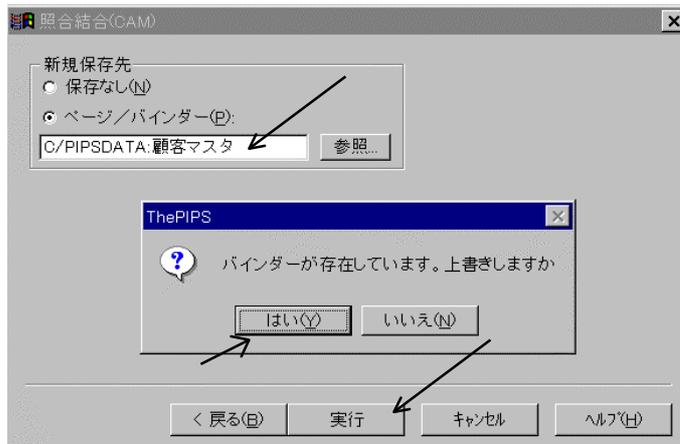


ダイアログボックス(3)

必要な列はAでメインのすべての列をさします。S5はサブの5列目という意味です。

この場合、メインのすべての列の後にサブの5列目つまりプレゼントの列がきます。Aランクの人にはティーカップが、Bランクの人には絵皿がといったふうに。

第 4 章



ダイアログボックス(4)

保存先は「顧客マスタ」とします。もし新規に保存したい場合は新しいバインダー名を書きます。そうすれば、そのバインダーの名前で保存してくれます。 **実行**

ここでは既に存在していますので上書き確認メッセージが出ますので、 **はい(Y)**

顧客マスタにプレゼントの列が追加されそれぞれのランクに合わせたデータが書き込まれました。明石さんはEランクなので「ストッキング」になりました。

安藤洋子さんは「ハンカチセット」、泉恵子さんは「オリジナル絵皿」。みなさんに喜んでいただけるかな？！

顧客CODE	顧客名	フリガナ	好きな色	年齢	誕生日	MARK	プレゼント	番付
1001	明石	左千夫	グレー	35	19610528	E	ストッキング	十両
1002	安藤	洋子	レッド	48	19480818	C	ハンカチセット	閑脇
1003	泉	恵子	ブルー	42	19540716	B	オリジナル絵皿	大閑
1004	岩崎	優	レッド	35	19610709	D	ストッキング	十両
1005	上村	圭	グレー	36	19600204	E	ストッキング	小結
1006	江森	祐子	オレンジ	44	19520930	B	オリジナル絵皿	閑脇
1007	大石	総子	ブラック	26	19700502	E	ストッキング	十両
1008	大倉	健二	ブラック	48	19480101	E	ストッキング	十両
1009	大竹	千春	ベージュ	33	19630605	C	ハンカチセット	閑脇
1010	大西	清春	アイボリー	18	19780217	C	ハンカチセット	閑脇
1011	小川	雅之	ブルー	45	19510203	D	ストッキング	小結
1012	加藤	緑	グリーン	42	19540228	D	ストッキング	小結
1013	金子	昭	ブルー	18	19781209	A	オリジナルカップ	構綱
1014	狩谷	燕子	イエロー	30	19660403	D	ストッキング	小結
1015	工藤	真智子	ホワイト	18	19780816	C	ハンカチセット	閑脇

このように、コードや文字を照合せながら別の台帳から転記したいといった作業は日常茶飯事です。それに手作業では手間もかかるし、転記ミスもでます。そのためのチェックにもうひと仕事増えることになりますから。

ぜひこういった仕事はPIPSにお任せください。



ワンポイントクッキング

大量のデータの転記にはこれがお勧め

指令CAMとは別にSCAM(高速マッチング処理)があります。どうしてもデータが多くなるとマッチングするのに時間がかかります。元データをソートしておくとSCAM(高速マッチング処理)が使えて快適です。

25

データを分類するには(1)データの並べ替え

ここでは、顧客ごとの売上明細台帳を作ってみましょう。

まず顧客コード順にデータを並べ替えます。この時売上日の古い順に並ぶように並べ替えのキー列を2つにします。1番目のキー列を顧客コード昇順に、2番目のキー列を日付昇順に。ここでは指令SORTを使います。SORTには大きく分けて、1.データの並べ替え。2.データの分類。の2つが考えられます。あいうえお順や金額の大きい順に並べたいものから、同じデータを集めたい目的のことも多々あります。今回は後者の目的によるものです。

使う指令 SORT

ツールバーだったら

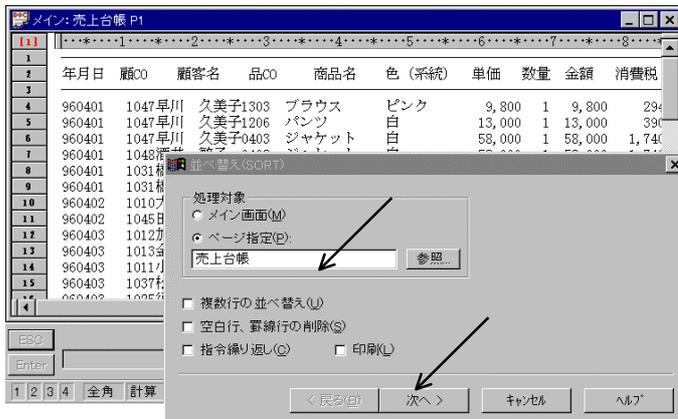


メニューだったら

処理(P)

→

並べ替え(SORT)



ダイアログボックス(1)

ページ指定のところに売上台帳と書きます。ここがバインダー名だけだったら、指定バインダー丸ごとという意味です。何ページあるか意識する必要がありません。

次へ



ダイアログボックス(2)

2列目(顧客CO)を昇順、1列目の(年月日)を日付昇順に指定します。次へ

第4章



ダイアログボックス(3)

新規保存先はページ指定にチェックして、WORKと書いてください。

実行



注意!!

ソートした結果はできるだけ別バインダーに保存することをお奨めします。元バインダーに上書きするのは危険です。

WORKバインダー

(顧客コード順に購入日順に並び替わったデータ)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
年月日	顧客CO	顧客名	品CO	商品名	色(系統)	単価	数量	金額	消費税
960409	1001	明石 左千夫	1102	ネクタイ	クリーム	14,000	1	14,000	420
960420	1001	明石 左千夫	0301	シャツ	クリーム	12,000	1	12,000	360
960405	1002	安藤 洋子	0801	スリーピース	ブラック	69,000	1	69,000	2,070
960409	1002	安藤 洋子	0702	スカーフ	オレンジ	20,000	1	20,000	600
960415	1002	安藤 洋子	0101	カーディガン	ブルー	9,800	2	19,600	588
960418	1002	安藤 洋子	0701	スカーフ	ピンク	10,000	1	10,000	300
960404	1003	泉 恵子	0802	スリーピース	ブルー	120,000	1	120,000	3,600
960416	1003	泉 恵子	0702	スカーフ	オレンジ	20,000	2	40,000	1,200
960423	1003	泉 恵子	0101	カーディガン	ブルー	9,800	1	9,800	294
960405	1004	岩崎 優	0701	スカーフ	ピンク	10,000	1	10,000	300
960417	1004	岩崎 優	0602	スカート	イエロー	26,000	1	26,000	780
960405	1005	上村 圭	1501	ワンピース	ブルー	29,000	1	29,000	870
960426	1005	上村 圭	0401	ジャケット	アイボリー	29,800	1	29,800	894

並べ替えの種類



データは並べ替えただけでも今まで見えなかった事が見えてきます。指令SORTは単独でもよく使いますが、他の処理をさせる前処理としても頻繁に使いますので早く覚えてね。

- | | | |
|------|------|-------------------------|
| 昇順 | 文字列を | A B C 順、あいうえお順に並べます。 |
| 降順 | 文字列を | 昇順と逆の順に並べます。(Z Y X ~) |
| 数値昇順 | 数値列を | 数字の小さい順に並べます。 |
| 数値降順 | 数値列を | 数字の大きい順に並べます。 |
| 日付昇順 | 日付列を | 日付の古い順に並べます。 |
| 日付降順 | 日付列を | 日付の新しい順に並べます。 |



注意 !!

SORTにはいくつかの注意事項がありますので、頭の中にメモっておいてください。

- 並べ替えるページ数の倍のサブファイル（ソート用ワーク）が必要。サブファイルは指令INで前もって作っておきます。
- 並べ替える元になるページ（バインダー）と保存先は別バインダーをお奨めします。もし元のバインダーに書き込み中に電源が落ちる等のトラブルがあった場合は、元データまで消えてなくなりますのでご注意ください。



ワンポイントクッキング

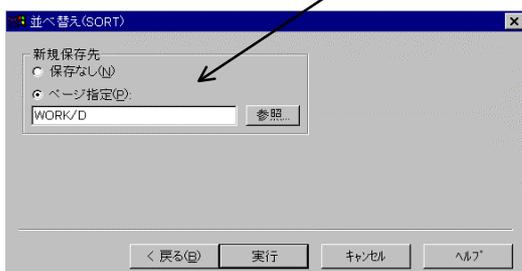
データを並べ替える指令SORTは単独はもちろん、他の指令の前処理にも欠かせない指令です。そのために並べ替えたデータを「WORK」と言う名前をつけて保存し、次の処理をさせるといった方法を取りますが、キャビネットの中に「WORK1」「WORK2」「WORK3」と増えていってしまいがちです。そこでワンポイント。

新規保存先を指定するときに、「WORK/D」とすると、「WORK」の内容を消して新しいデータを

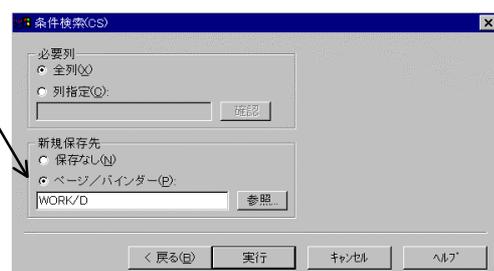
「WORK」に保存してくれます。

これはSORTだけでなく、CS等他の指令でも使えますので便利な機能として覚えておいてください。

指令 SORT の場合



指令 CS の場合

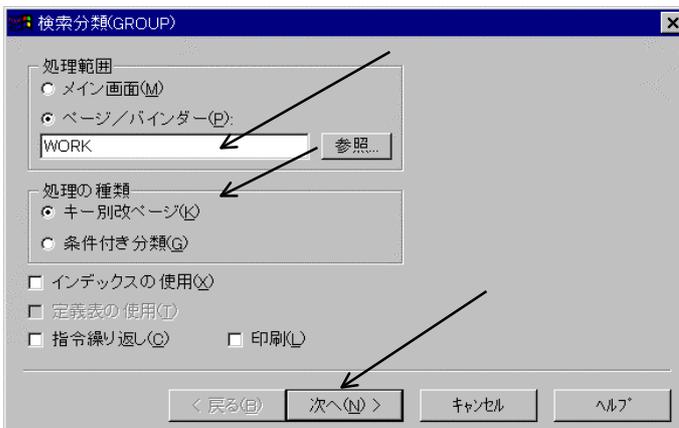


データを分類するには(2)グループ分け

顧客ごとに並べ替わったこのデータを 1 人 1 人ページ分けします。

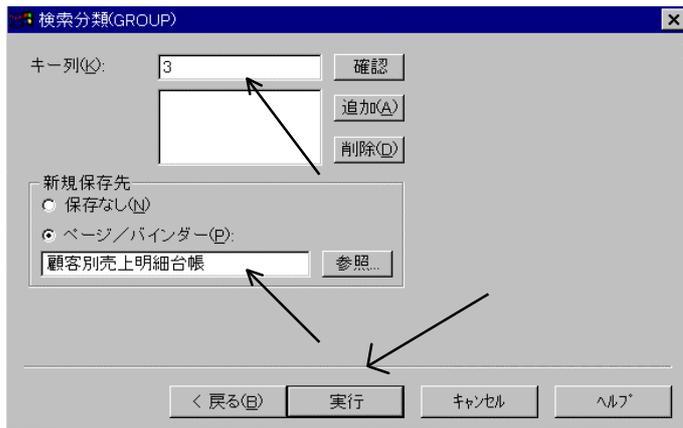
使う指令 GROUP

メニューだったら 処理(P) → 検索分類(GROUP)



ダイアログボックス(1)

処理範囲は「WORK」、処理の種類は「キー別改ページ」にチェックして **次へ**



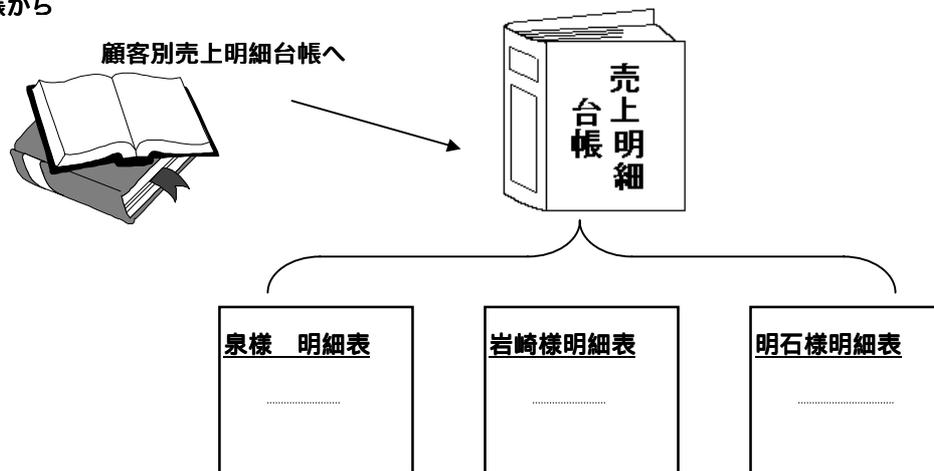
ダイアログボックス(2)
 キー列と新規保存先を指定します。ここでは、キー列を「顧客名」の列とします。キー列の内容がページタイトルになりますので、後で分かりやすいように、顧客コードではなく顧客名にするのもいいでしょう。 **実行**



ページ一覧のダイアログボックス
 「顧客別売上明細台帳」にはこのように1人1人の売上明細が分類され保存されました。

売上台帳 P1-明石 左千夫 1									
年月日	顧CO	顧客名	品CO	商品名	色(系統)	単価	数量	金額	消費税
960409	1001	明石 左千夫	1102	ネクタイ	クリーム	14,000	1	14,000	420
960420	1001	明石 左千夫	0301	シャツ	クリーム	12,000	1	12,000	360

売上台帳から



第4章



ワンポイントクッキング

指令GROUPには他にも指定した条件でグループ分けしそれぞれのバインダー（台帳）に保存する方法もあります。条件があまり多いと条件入力するのが面倒になりますが、少ない条件のグループ分けにはもってこいです。例えばせっかくランク付けしたのでランクごとにバインダーを分けるなんていうのはどうでしょうか。他にも地域別にバインダーを分けるなど

確かマーク付けしたのは顧客マスタで、売上台帳にはされてなかったはず。どうやって売上台帳をランク別に分ける事ができるの？ 僕はいやだよ！この人はAランクこの人はBランクなんて1人1人分けていくんじゃないだけ時間があたってできやしないよ。



大丈夫！それがThe PIPSのいいところ。そんなのは朝飯前ってとこかな。顧客マスタの顧客コードの列と、売上台帳の顧客コードの列を照合させて顧客マスタのMARKの列をくっつけてくれば出来上がり。君のする事はその照合する顧客コードの列をくれぐれも間違わないという事だけだよ。

指令 CAM

指令 GROUP



27

いろんな条件で、データを探すには

売上台帳から早川久美子さんのデータをすべて探したいとしたら、



早川久美子

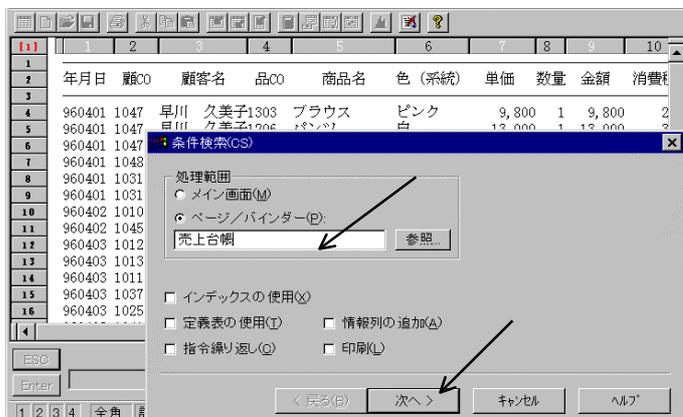
使う指令は **CS**(Conditional Search)

ツールバーだったら



メニューだったら

処理(P) → 条件検索(CS)



ダイアログボックス(1)

処理範囲に「売上台帳」と書いて

次へ



ダイアログボックス(2)

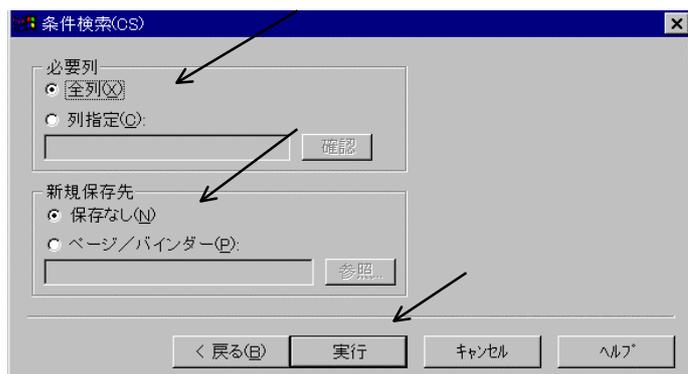
条件式に

C 3 = "早川 久美子"と書いて

次へ

複数の条件式がある場合は、条件式を入力するたびに **追加**

第 4 章



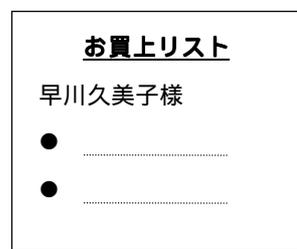
ダイアログボックス(3)

必要な列が全列で、検索結果を保存しなければ、このダイアログボックスは「実行」を左クリックするだけでOKです。



検索結果が出ました。110件中3件が早川久美子さんのデータでした。
今は3件ですが、データを貯め続ければ、それがあなたのお店（会社）の財産と
なって行きます。いろんな角度から分析して経営に役立ててください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
年月日	顧CO	顧客名	品CO	商品名	色(系統)	単価	数量	金額	消費税
960401	1047	早川 久美子	1303	ブラウザ	ピンク	9,800	1	9,800	294
960401	1047	早川 久美子	1206	ThePIPS		13,000	1	13,000	390
960401	1047	早川 久美子	0403			58,000	1	58,000	1,740





ワンポイントクッキング

(条件式いろいろ)

- ・ 同じ物を 2 枚以上お買い上げの方： $C8 > = 2$
- ・ 同じ物を 2 枚以上でその単価が 5 万円以上の方：
 $C8 > = 2$ and $C7 > = 50000$
- ・ 名字がわからなくて、「久美子」だけ分かっている場合 (ワイルドカード)：
 $C3 = "*"久美子"$
- ・ 「早川久美子」又は「速河久美子」さんだったかわからない場合：
 $C3 = "早川久美子" OR "速河久美子"$
- ・ 売上額が B ランク以上のお客様だけ取り出す場合：
 $C8 < = "B"$

(@MARK)

B ランク以上なのに指定は $< =$ (以下) になっているのに気づかれたでしょうか? B 以上といっても実際には B より小さいからです。($A < B$)

この条件式だと、**早川久美子**さんの**96年4月分**のデータを探してきます。

条件は、and、or、notの他にワイルドカード(あいまいな指定)もありますので細かい条件でデータを探す事ができます。



Bランク以上のお客様に セール前日特別ご招待状を送るには

使う指令 ・CS (Conditonal Search) 条件検索

- ・CLM(CLear Main) 白紙の作成
- ・WP (Word Processor) ワープロ
- ・DM (Direct Mail) ラベル印刷

まず顧客マスタよりBランク以上のお客様を探してきます。

CS(Conditonal Search)



ダイアログボックス

- ・必要な列だけとってくる事ができます。ここでは宛名に必要な項目と担当スタッフ名。本当にBランク以上の人かどうか分かるようにランクの列。
- ・探し出したデータは「特別ご招待」というバインダーに保存します。

特別招待バインダーに保存された内容

顧客名	〒	住所 1	住所 2	担当者	MARK
泉 恵子	125	神奈川県川崎市川崎町1-2-1	j p p マンション202	三浦	B
江森 祐子	317	茨城県日立市神峰町4-3-6		三浦	B
金子 昭	231	神奈川県横浜市中区不老町	1-2-6	松崎	A
郷田 久美	450	愛知県名古屋市中村区名駅	2-	松田	B
塩田 祐介	600	京都府京都市下京区四条通烏丸	10-	松田	A
水野 順子	340	埼玉県草加市中根町	58	河合	A
山田 知子	103	東京都中央区日本橋大伝馬町	7-	高橋	A

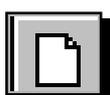
次にDMのデザインを作ります。

特別招待客リストの表は次のようになっています。

列番	項目名	桁数	設定列属性
1	顧客名	12	左詰め:
2	〒	10	左詰め:
3	住所 1	30	左詰め:
4	住所 2	30	左詰め:
5	担当者	6	左詰め:
6	MARK	4	

使う指令 CLM (CLear Main)

ツールバーだったら



メニューだったら

ファイル(F)



白紙の作成(CLM)

ダイアログボックス

ページのタイトルを入れて

実行

画面に新しい白い紙が出てきます。

第4章

使う指令 WP (Word Processor)

ツールバーだったら

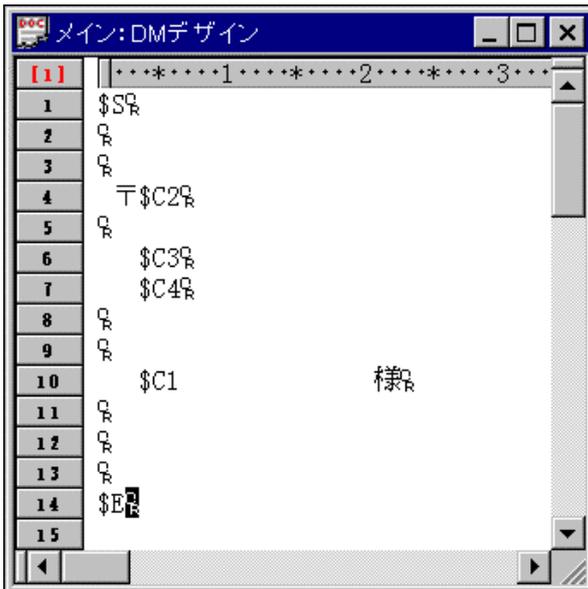


メニューだったら

入力(I)

→

ワープロ(WP)



DMデザイン画面

\$ S...ここから始まります。

\$ E...ここで終わります。

\$ C をつけてデータの入っている表の列番号を書きます。郵便番号は2列目に入っているので「\$ C 2」といったふうに。「〒」や「様」「御中」等の固定文字は直接デザイン画面に書き込んでください。

注意! その場合元表の桁数を考慮して書いてください。桁数が足りない場合は、固定文字に上書きされ印刷されません。印字位置は\$マークの位置から印刷されます。

デザインが終了したらいよいよ印刷

ここではDirect Mail印刷機能を使います。

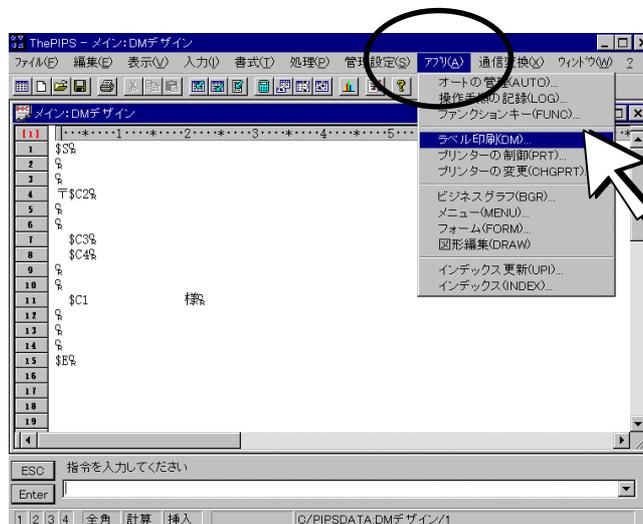
使う指令 DM (Direct Mail)

メニューだったら

アプリ(A)

→

ラベル印刷(DM)



The screenshot shows a window titled "メイン: DMデザイン" (Main: DM Design). The main area contains a list of data fields: 1 \$SR, 2 CR, 3 CR, 4 T\$C2R, 5 CR, 6 CR, 7 \$C3R, 8 \$C4R, 9 CR, 10 CR, 11 \$C1, 12 CR, 13 CR, 14 CR, 15 \$ER, 16, 17, 18, 19. A text label "様" (sama) is positioned to the right of the list. A callout box with an arrow pointing to the list contains the text: "デザインを画面に出して指令DMを実行します。ページ指定は印刷したいデータが入っているバインダー名(ページ番号)です。" (Design is displayed on the screen and the DM command is executed. Page specification is the binder name (page number) of the data to be printed.) Below this is a button labeled "実行" (Execute).

A dialog box titled "ラベル印刷(DM)" (Label Printing (DM)) is open. It has a "ページ指定(P):" (Page Specification) field containing "C/PIPSDATA:特別招待" (C/PIPSDATA: Special Invitation). A "参照..." (Reference...) button is next to it. Below the field is a checkbox for "指令繰り返し(O)" (Repeat Command) which is unchecked. At the bottom are buttons for "実行" (Execute), "キャンセル" (Cancel), and "ヘルプ(H)" (Help).

印刷結果

The printed card contains the following text:

〒125
神奈川県川崎市川崎町 1-2-1
j p pマシヨ202
泉 恵子 様
様
: 三浦
担当: 三浦

招待状の宛名書きの出来上がり

特売日前日の招待状は、今や当たり前になりつつありますが、もらうと結構うれしいもので、つい行ってみようかななんて気になるものです。

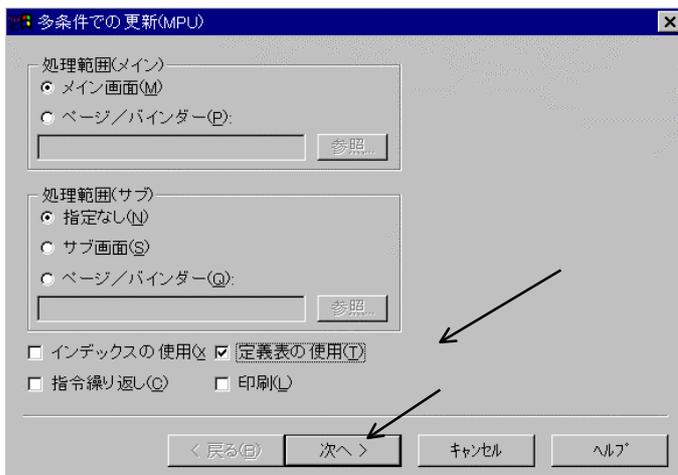
他にもいろんなカスタマーサービスがあると思います。どうぞお店(会社)繁栄のためにもいろんなアイデアを期待していますよ。



ちょっとおいしいお話

お客様にダイレクトメール等を大量に送る場合、郵便番号順に並んでいると郵便料金が割安になるって知ってますか？

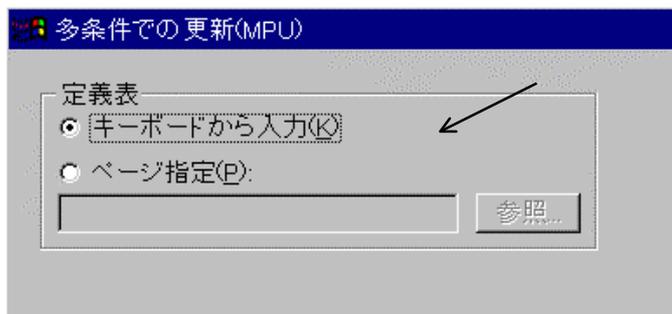
DM指令で印刷を開始する前に指令SORTで郵便番号順にデータを並べ替えておくことをお勧めいたします。経費節減の折 ... 。



ダイアログボックス(1)

定義表の使用をクリックしてチェックマークをつけます。

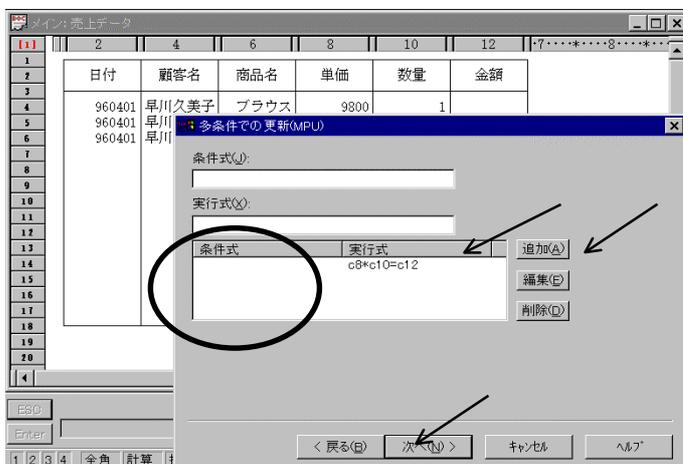
次へ



ダイアログボックス(2)

キーボードからの入力をチェックして次へ

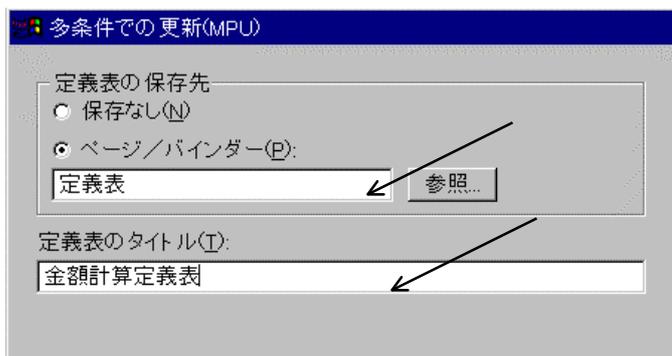
定義表がすでにある場合はその定義表のページを指定します。今回は新規に定義表を作ります。



ダイアログボックス(3)

条件はないので実行式だけ書きます。

単価 × 数量 = 金額 なので
C 8 * C 1 0 = C 1 2 と書きます。追加 次へ



ダイアログボックス(4)

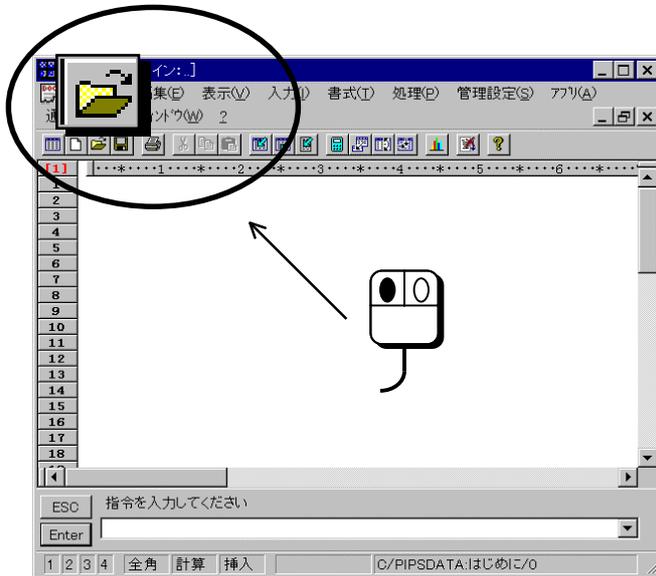
定義表の保存先バインダー名と定義表のタイトルを書き込んだら実行

必ず保存してください。

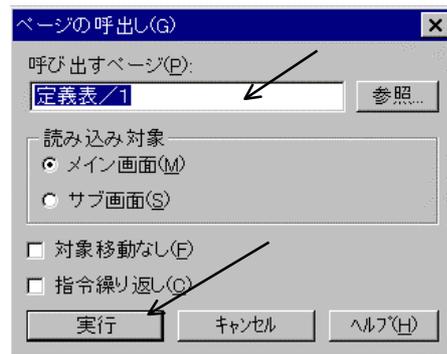


出来上がった定義表を画面に呼出してみましょう

使う指令は G (G e t) です。

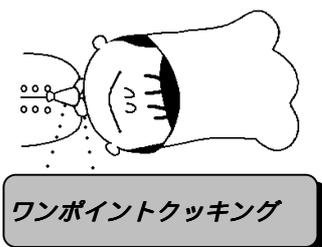


ダイアログボックス



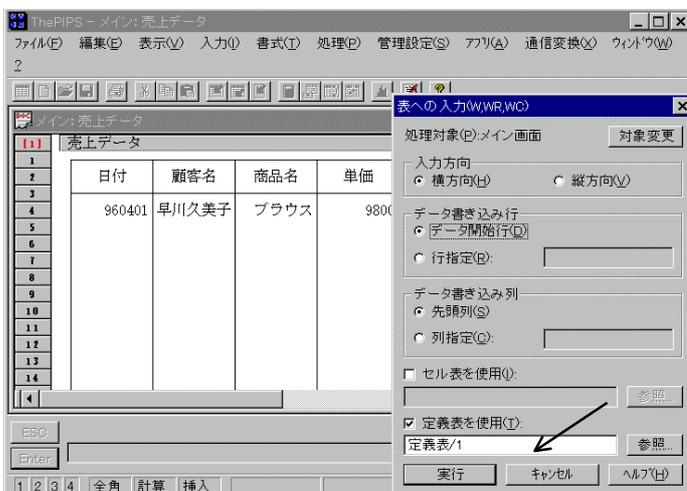
右の表が自動的に作成されたMPUの定義表です。指令に / T のモードをつけるか、メニューで実行後ダイアログボックスの定義表を使用にチェックマークをつけて先ほどの手順どおり実行し、定義表を保存してあげるとこの定義表は再利用がきくというわけです。

金額計算定義表		
番号	使用サイン	条件式 実行式
1	使用	c8*c10=c12



MPUの定義表はW(又はMT)の定義表としても使えます。指令Wには定義表を自動的に作る機能はありませんので、MPUで自動作成した定義表を使うというのも一つの手段です。定義表は指令Oで作ってもかまいませんが、指令によって定義表の形(項目)が違いますので、慣れるまでは自動作成の方法をお勧めします。

ではさっそく指令Wで早川久美子さんのデータを入力してみましょう。



ダイアログボックス(1)

定義表を使用をクリックして、定義表の入っているバインダー名とページ番号を入力します。その時エディットボックスの右横の参照ボタンを押すと、キャビネットバインダー一覧が出てきますのでそこから取り込んでくる方法があります。バインダー名やページ番号を忘れたとき等は特に役に立ちます。



表の中にカーソルが出てきたら入力してみてください。
1度入力したところでもカーソルを戻して入力し直すと金額が変わる様子が分かります。
単価や数量をいろいろ変えて試してください。

日付	顧客名	商品名	単価	数量	金額
960401	早川久美子	ブラウス	9800	2	19600
960401	茅野宏	靴下	1000	3	3000

第4章

それができたら、次は定義表に条件式を付け加えてみましょう。
年間売上がAランクのお客様で単価が20000円以上の場合は1割引するというサービスなんかいかがでしょうか？

もう1度定義表を画面に呼出してきます。



ページの呼出し(G)

呼び出すページ(P):
定義表/1 参照...

読み込み対象
 メイン画面(M)
 サブ画面(S)

対象移動なし(F)
 指令繰り返し(Q)

実行 キャンセル ヘルプ(H)

金額計算定義表			
番号	使用サイン	条件式	実行式
1	使用		c8*c10=c12



その前に、条件式を書き込むには定義表の条件式の列幅が足りませんので、条件式と実行式の列の桁数を大きくしておきます。使う指令はC F（桁数の変更）です。

列桁数の変更(CF)...

桁割形式の変更(NF)...

列属性の設定(ATR)...

色付け(COL)...

罫線(DRL)...

文字の加工(CJ)...

列データの編集(ACD)...

行と列の入れ替え(SRC)...



ダイアログボックス(1)

条件式と実行式の列の桁数を
25桁と20桁に変更します。

実行



指令MTを使って条件式、実行式
を追加していきます。

売上台帳のA・B・Cとランクが
書き込まれた列番号と単価と金額
の列を前もって調べておきましょ
う。

調べるのが面倒な方は「@項目
名」という便利なものがありまし
たね。

**単価はC7金額はC9
ランクはC14です。**

売上台帳の列情報と金額計算定義表

列番	項目名	桁数	設定列属性
1	年月日	7	左詰め:
2	顧CO	6	左詰め:
3	顧客名	12	左詰め:
4	品CO	6	左詰め:
5	商品名	14	左詰め:
6	色(系統)	10	左詰め:
7	単価	9	数値:四捨五入:カンマ
8	数量	4	数値:カンマ
9	金額	8	数値:カンマ
10	消費税	8	数値:四捨五入:カンマ
11	天気	10	左詰め:
12	担CO	5	
13	担当者	6	
14	MARK	4	

注意!!
 売上台帳と先ほどの表では列番号が違いますので
 ご注意ください。したがって実行式1の列番号も
 変更が必要です。

金額計算定義表(売上台帳)

番号	使用サイン	条件式	実行式
1	使用		C7*C8=C9
2	使用	C7>=20000 and C14="A"	C9*0.9=C9

第4章

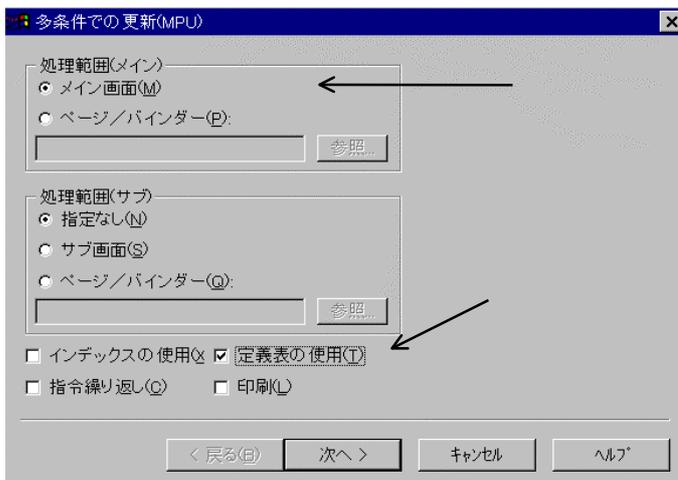
MPUを実行してみましょう



年月日	顧CO	顧客名	単価	数量	金額	消費税	天気	担CO	担当者	MARK
960401	1048	酒井 繁子	58,000	1	58,000	1,740	晴れ	007	高橋	D
960401	1031	橋口 三郎	9,800	1	9,800	294	晴れ	004	松本	E
960401	1031	橋口 三郎	18,000	1	18,000	540	晴れ	004	松本	E
960402	1010	大西 清春	48,000	1	48,000	1,440	曇り	002	松崎	C
960402	1045	田中 聡美	14,000	1	14,000	420	曇り	007	高橋	D
960403	1012	加藤 緑	20,000	1	20,000	600	曇り後晴れ	002	松崎	D
960403	1013	金子 昭	48,000	2	96,000	2,880	曇り後晴れ	002	松崎	A
960403	1011	小川 雅之	14,000	2	28,000	840	曇り後晴れ	002	松崎	D
960403	1037	松崎 悟	110,000	1	110,000	3,300	曇り後晴れ	005	仙石	C
960403	1025	須藤 清二	14,000	1	14,000	420	曇り後晴れ	004	松本	E
960403	1041	水野 順子	68,000	1	68,000	2,040	曇り後晴れ	006	河合	A
960403	1034	堀 陽子	68,000	1	68,000	2,040	曇り後晴れ	005	仙石	C
960404	1044	山田 知子	98,000	1	98,000	2,940	雨	007	高橋	A
960404	1044	山田 知子	48,000	2	96,000	2,880	雨	007	高橋	A
960404	1041	水野 順子	110,000	1	110,000	3,300	雨	006	河合	A

Aランクで単価が20000円以上の方に注目！！

この画面では金子昭さん、水野順子さん、山田智子さんがAランクでしかも単価が20000円以上のものばかりです。MPU/Tを実行させて、結果と比べてみましょう。



ダイアログボックス(1)

ここでは画面上だけで試してみます。うまく行ったら処理範囲を売上台帳にしてください。さっき作った定義表を使います。



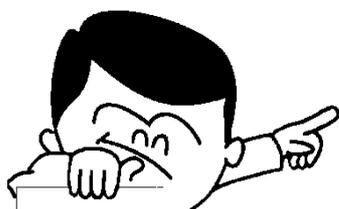
ダイアログボックス (2)

定義表のページ番号を書き込んだら

実行

集計結果

1	2	3	7	8	9	10	11	12	13	14
年月日	顧CO	顧客名	単価	数量	金額	消費税	天気	担CO	担当者	MARK
960401	1047	早川 久美子	9,800	1	9,800	294	晴れ	007	高橋	D
960401	1047	早川 久美子	13,000	1	13,000	390	晴れ	007	高橋	D
960401	1047	早川 久美子	58,000	1	58,000	1,740	晴れ	007	高橋	D
960401	1048	酒井 繁子	58,000	1	58,000	1,740	晴れ	007	高橋	D
960401	1031	橋口 三郎	9,800	1	9,800	294	晴れ	004	松本	E
960401	1031	橋口 三郎	18,000	1	18,000	540	晴れ	004	松本	E
960402	1010	大西 清春	48,000	1	48,000	1,440	曇り	002	松崎	C
960402	1045	田中 聡美	14,000	1	14,000	420	曇り	007	高橋	D
960403	1012	加藤 緑	20,000	1	20,000	600	曇り後晴れ	002	松崎	D
960403	1013	金子 昭	48,000	2	86,400	2,880	曇り後晴れ	002	松崎	A
960403	1011	小川 雅之	14,000	2	28,000	840	曇り後晴れ	002	松崎	D
960403	1037	松崎 悟	110,000	1	110,000	3,300	曇り後晴れ	005	仙石	C
960403	1025	須藤 清二	14,000	1	14,000	420	曇り後晴れ	004	松本	E
960403	1041	水野 順子	68,000	1	61,200	2,040	曇り後晴れ	006	河合	A
960403	1034	堀 陽子	68,000	1	68,000	2,040	曇り後晴れ	005	仙石	C
960404	1044	山田 知子	98,000	1	88,200	2,940	雨	007	高橋	A
960404	1044	山田 知子	48,000	2	86,400	2,880	雨	007	高橋	A



Aランクで単価が 20000 円以上の方だけ 1 割引になっているのがハッキリ分かりますね。このようにいろんな条件で計算したり転記したり、更新させたりできるのが指令 MPU です。2 冊のバインダー（台帳）間でもできますのでご活用ください。



ひとくちメモ

対話型データベースはいかがでしたでしょうか？

リレーショナルデータベースが主流？ だけど難しくて使えなければ、なんの役にも立ちません。コンピュータを仕事の道具にするためには、簡単で分かりやすいが1番です。それに人の考え（アイデア）はいつも後から後から出てくるもの。自由自在に変更が可能でなければ使い勝手が言いとはいえません。

PIPSのことを頂点を極めたデータベースと表現した人がいました。

コンピュータを仕事の道具として、使って頂くために、「The PIPS」に関わっている私たちも日々頑張っています。